



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年8月5日

上場会社名 佐藤食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2814 URL <http://www.sato-foods.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 上田 正博
 問合せ先責任者（役職名） 管理部長（氏名） 那須 智（TEL）0568-77-7316
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第1四半期の業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,366	3.1	160	△22.2	220	△15.0	135	△21.8
2022年3月期第1四半期	1,324	—	205	48.9	259	40.7	173	38.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	32.21	31.93
2022年3月期第1四半期	27.73	27.56

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期会計期間の期首から適用しております。このため、2022年3月期第1四半期の売上高の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,433	18,817	91.9
2022年3月期	20,317	18,740	92.1

（参考）自己資本 2023年3月期第1四半期 18,782百万円 2022年3月期 18,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	15.00	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,726	2.6	221	△39.9	285	△32.7	186	△44.6	44.20
通期	5,700	1.0	457	△41.6	590	△32.7	470	△35.4	111.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期1Q	9,326,460株	2022年3月期	9,326,460株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	5,111,412株	2022年3月期	5,111,412株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	4,215,048株	2022年3月期1Q	6,259,808株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「本感染症」といいます。)の新規感染者数が減少傾向にあり、本感染症の感染拡大防止に伴う制限が緩和されたことで、外国人観光客の受入れ再開など、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られました。一方で、急速に進行した円安、長期化するロシア・ウクライナ情勢による物価上昇の影響や、足元では新たな変異株による感染拡大が懸念されていることから、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。海外経済につきましては、欧米を中心に社会経済活動の正常化に向けた動きが見られるものの、金融資本市場の変動による景気の下振れリスクや、ロシア・ウクライナ情勢など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社といたしましては、顧客、取引先及び従業員の安全確保を最優先に、本感染症の感染拡大に伴う一時的な操業停止のリスクを避けるため、マスク着用や手洗い消毒などの、基本的な感染拡大防止対策を講じつつ、国内の感染状況に応じて営業活動や来客対応の制限などの対策を行うとともに、変化、多様化する消費者ニーズやエネルギーコスト及び原材料コストの動向を注視しながら事業活動を継続してまいりました。

このような状況のもと、当社の当第1四半期累計期間における売上実績は、茶エキスを中心に緩やかな回復基調で推移しました。

茶エキスにつきましては、ウーロン茶エキス・玄米茶エキス等が減少したものの、紅茶エキス等が増加したため、売上高は570百万円(対前年同四半期比8.1%増)となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末魚介等が増加したものの、粉末鰹節・粉末ソース等が減少したため、売上高は412百万円(同4.6%減)となりました。

植物エキスにつきましては、果実エキス等が増加したため、売上高は183百万円(同10.9%増)となりました。

液体天然調味料につきましては、椎茸エキス等が増加したものの、鰹節エキス等が減少したため、売上高は165百万円(同3.0%減)となりました。

粉末酒につきましては、ラムタイプ・ウォッカタイプ等が減少したものの、ワインタイプ等が増加したため、売上高は33百万円(同18.2%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,366百万円(同3.1%増)となり、前年同四半期に比べ41百万円増加しました。

利益面につきましては、売上原価の増加により営業利益は160百万円(同22.2%減)、経常利益は220百万円(同15.0%減)となりました。また、法人税等37百万円(同17.4%減)を計上したため、四半期純利益は135百万円(同21.8%減)となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は20,433百万円となり、前事業年度末に比べ115百万円増加しました。

流動資産については11,941百万円となり、前事業年度末に比べ47百万円増加しました。主に、売上債権が141百万円減少したものの、棚卸資産が114百万円増加したことによります。

固定資産については8,492百万円となり、前事業年度末に比べ68百万円増加しました。主に、投資有価証券が18百万円減少したものの、有形固定資産が82百万円増加したことによります。

負債合計は1,616百万円となり、前事業年度末に比べ38百万円増加しました。

流動負債については1,545百万円となり、前事業年度末に比べ38百万円増加しました。主に、賞与引当金が48百万円減少したものの、仕入債務が80百万円増加したことによります。

固定負債については70百万円となり、前事業年度末から変動はありませんでした。

純資産合計は18,817百万円となり、前事業年度末に比べ77百万円増加しました。主に、配当金の支出により84百万円減少したものの、四半期純利益135百万円を計上し、その他有価証券評価差額金が25百万円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。通期の業績予想につきましては修正しておりません。詳細につきましては、2022年8月5日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期業績予想値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があるため、今後、業績予想の修正が生じる場合は、速やかにお知らせ致します。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,182,619	9,199,972
受取手形及び売掛金	1,239,729	1,097,846
製品	686,690	721,688
仕掛品	429,550	471,232
原材料及び貯蔵品	307,125	345,110
その他	48,546	105,941
流動資産合計	11,894,261	11,941,790
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,460,639	1,438,365
機械及び装置(純額)	685,387	682,525
土地	2,558,304	2,558,304
建設仮勘定	149,377	209,809
その他(純額)	101,509	148,249
有形固定資産合計	4,955,217	5,037,253
無形固定資産	40,028	37,449
投資その他の資産		
投資有価証券	3,007,182	2,988,467
破産更生債権等	1,409,286	1,409,265
繰延税金資産	138,410	140,535
その他	282,829	288,333
貸倒引当金	△1,409,286	△1,409,265
投資その他の資産合計	3,428,422	3,417,336
固定資産合計	8,423,668	8,492,039
資産合計	20,317,930	20,433,830

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	282,909	363,045
短期借入金	670,000	670,000
未払金	208,089	196,454
未払法人税等	79,717	54,177
賞与引当金	110,000	61,302
その他	156,718	200,969
流動負債合計	1,507,435	1,545,948
固定負債		
役員退職慰労引当金	14,580	14,580
資産除去債務	55,649	55,649
固定負債合計	70,229	70,229
負債合計	1,577,664	1,616,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,439,113	4,439,113
利益剰余金	13,277,384	13,328,857
自己株式	△3,406,859	△3,406,859
株主資本合計	17,981,914	18,033,386
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	722,724	748,639
評価・換算差額等合計	722,724	748,639
新株予約権	35,626	35,626
純資産合計	18,740,265	18,817,652
負債純資産合計	20,317,930	20,433,830

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,324,870	1,366,430
売上原価	904,986	986,072
売上総利益	419,884	380,358
販売費及び一般管理費	213,921	220,183
営業利益	205,962	160,174
営業外収益		
受取利息	235	263
有価証券利息	98	98
受取配当金	51,233	58,931
貸倒引当金戻入額	102	20
その他	2,723	1,852
営業外収益合計	54,392	61,165
営業外費用		
支払利息	931	922
その他	0	1
営業外費用合計	931	923
経常利益	259,423	220,417
特別利益		
受取損害賠償金	—	491
特別利益合計	—	491
特別損失		
損害賠償金	—	1,309
固定資産除却損	435	290
投資有価証券評価損	39,445	45,576
特別損失合計	39,881	47,176
税引前四半期純利益	219,541	173,732
法人税等	45,928	37,959
四半期純利益	173,613	135,773

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

当社は、食品加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	603,476	△7.9
粉末天然調味料	452,292	1.9
植物エキス	198,434	11.5
液体天然調味料	164,822	3.9
粉末酒	24,244	△2.2
合計	1,443,270	△1.2

(注)金額は、販売価格によっております。

②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

③販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	570,109	8.1
粉末天然調味料	412,612	△4.6
植物エキス	183,117	10.9
液体天然調味料	165,001	△3.0
粉末酒	33,912	18.2
その他	1,678	18.8
合計	1,366,430	3.1

(注)主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株)伊藤園	117,971	8.9	175,113	12.8
三菱商事ライフサイエンス(株)	161,272	12.2	136,620	10.0
鳳商事(株)	135,810	10.3	127,670	9.3